



第55回 全日本新人ボウリング選手権大会

監督会議資料

- 日時： 2022年11月11日（金） 10時50分
2022年11月11日（金） 15時10分
2022年11月12日（土） 13時20分
- 会場： 山形ファミリーボウル2階会議室 36L 後方階段
- 主催： 公益財団法人全日本ボウリング協会
- 後援： 山形県教育委員会 山形市
公益財団法人山形県スポーツ協会
- 協力： 日本ボウリング機構（JBO）
- 主管： 山形県ボウリング連盟

【監督会議次第】

1. 開会の辞
2. 各部注意事項説明
3. 質疑応答
4. 閉会の辞

連絡事項

1. 監督会議には各団体1名の出席をお願いいたします。
監督会議の時間は、1日目10時50分・15時10分 2日目は、13時20分からです。
2. 今大会は、新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインに基づき、競技を行います。
監督・選手・大会関係者等特別に許可を得た者以外の入場は全てお断りします。
3. 初回入場時に新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出して下さい。(健康管理表については提出の必要はありません) 提出がない場合、場内への入場することはできません。未成年者の場合は親権者の署名が必要ですのでご注意ください。
4. 入場時、体温測定を行います。37.5度以上の方の入場を固くお断りいたします。
アルコール消毒液も設置しますので、出入場の際は必ず手指の消毒をしてください。
5. 監督・選手・引率者にはIDカードを配布します。場内では必ずIDカードを着用して下さい。それ以降の入場にも必ずIDカードが必要です。
IDカードの使い回しによるなりすまし行為は禁止します。
IDカードは回収しませんので、各自お持ち帰り下さい。
(ボウリング場に捨てて帰らないで下さい)
IDカードの再発行は、監督を通して競技役員へ申告して下さい。所定の申請書に必要事項を記入の上、再発行手数料(300円)をお支払いいただきます。
6. ボールふきタオルと筆記用具は各自で用意して下さい。
7. ボウリング場内では、マスクの着用を徹底して下さい。
フェイスシールド・フェイスガードの類ではなく、「マスク」の着用をお願いします。
また、着用の際は鼻・口をしっかり覆うように着用して下さい。
競技中(投球中および投球の待ち時間含む)も常時マスクを着用して下さい。
8. 競技開始前の挨拶における握手、ハンドタッチ(グータッチを含む、他選手との肌と肌が接触する行為)は禁止いたします。競技中の声出し、声援も禁止いたします。
9. ボウリング場内ではソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。
10. その他、(公財)全日本ボウリング協会の新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインを遵守して行動をお願いします。ボウリング場外においても、「新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルスに感染しないための最大限の努力を行って下さい。
<https://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/newlifestyle/index.html>
11. 感染リスクの高まる「5つの場面(別紙)」にもくれぐれ注意して下さい。
<https://corona.go.jp/proposal/>

引率者の入場について

1. 引率者として入場できるのは、選手1名につき2名となります。各団体を通じ引率者として事前に登録された方のみとなります。
2. 引率者は、引率者として登録されたシフトの競技時間にのみ競技会場への入場が認められます。
3. 引率者の入場は、各シフト練習投球開始後から競技終了までの間となります。競技が終了後、場内アナウンスに従いご退場いただきます。

開会式について

【開会式次第】

1. 開式通告
 2. 「国歌」吹奏
 3. 大会会長挨拶
 4. 歓迎の挨拶
 5. 閉式通告
1. 開会式には少年男子の選手がマスクを着用して参加して下さい。選手は11時30分になりましたら1回戦投球レーンのボウラーズベンチに着席をしてお待ちください。監督は、コンコースにてご参加下さい。25～28レーンは役員席として使用しますので、該当選手は、コンコースにて参加をお願いします。
 2. 開会式終了までボールはボールバックから出さないで下さい。ボールバックはコンコースに整理して置いてください。
 3. 入場行進は行いません。今大会では都道府県連盟旗の持参は不要です。
 4. 国歌吹奏時はベンチ内、コンコースでそれぞれ起立し、姿勢を正して国旗に注目して下さい。「斉唱」ではありませんので、発声はしないで下さい。

表彰式・閉会式について

【閉会式次第】

1. 開式通告
 2. 成績発表ならびに表彰式
 3. 閉会挨拶
 4. 閉式通告
1. 閉会式には全員マスク着用の上、表彰該当選手全員が参加して下さい。
 2. 閉会式には入賞選手全員がユニフォーム・各自のボウリングシューズ着用の上、参加して下さい。(ハウスシューズの貸し出しはありません)
 3. 表彰該当選手は、13時35分になりましたら下記の通り所定のレーンのボウラーズベンチへ集合し着席して下さい。

少年男子	21～24
少年女子	25～28
成年男子	39～44
成年女子	35～38

4. 表彰選手は、名前を呼ばれたら速やかに表彰台に上がって下さい。
5. 優勝者の所属連盟に対し連盟表彰がありますので、監督も選手も同じ場所で待機して下さい。ハウスシューズの貸し出しはありませんので、持参をお願いします。
6. 表彰式にもマスクを着用してご参加下さい。写真撮影時のみマスクを外して下さい。
7. 表彰時、オフィシャルカメラマン及び入場を許可されたマスコミ以外の写真撮影は禁止します。オフィシャルカメラマンの撮影した写真はJBC公式フェイスブックへアップロードしますので、そちらをご参照ください。
8. 表彰式・閉会式終了後、各部門優勝者の記念撮影を行いますので、各部門の表彰が終了しても、メダルと楯は片づけないでください。

総務部

1. 大会運営本部は、36レーン後方2階の山形県連盟事務局に設置します。
2. 大会中は、緊急の場合を除き、個人の呼び出しは行いません。
3. 大会期間中、監督は会場を離れないようにお願いします。
会場を離れる時には、代理の方に監督章を渡して下さい。
4. 大会期間中、場内は「禁煙」です。喫煙場所は玄関の階段下左側（駐輪場付近）でお願いします。
5. 大会中の使用ボールの損傷については、一切責任を負いませんのであらかじめご承知おき下さい。
6. 大会期間中は、場内が大変混雑しますので、所持品については各自が必ず責任をもって管理して下さい。盗難等のトラブルが発生しても、一切責任を負いません。
7. 各選手の健康管理には充分ご注意下さい。万一、大会期間中に会場内での事故や病人が発生した場合は、大会運営本部までご連絡下さい。
8. ゴミ、空き缶、使用済みの紙コップ、フィンガーテープの裏紙等は、その都度各自責任を持って始末をお願いします。
9. 宅配便にて送付されたボール等は、ボール置場に置いてあります。ボールを事前に会場へ送る場合、宅配業者の指定はありませんが11月10日（木）の午後以降に山形ファミリーボウルに到着するよう配達日時を指定して下さい。会場からの宅配業者は「ゆうパック着払い」のみとなります。伝票は受付場所のテーブルに用意しています。発送伝票に各自で記入し、ボールバックと共に所定の位置に置いて下さい。その際、伝票の1枚目（控）を持ち帰って下さい。なお、引火性液体（液状ボールクリーナー等）、高圧ガスを含んだスプレー缶（テープのり、シューズ消臭等）が入っている場合は引受されません。
10. 各シフト3G目終了後、ボックス内の消毒作業を行います。競技が終了した選手は次のレーンへ移動し、場内放送があるまでコンコースでお待ち下さい。
11. 競技中の選手のボールバック等は、コンコースに整理して置いてください。
12. 競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とします。ダブルボールバック2つあるいはトリプルボールバック1つとシングルボールバック1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにして下さい。競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行って下さい。5個以上の持ち込みが判明した場合、ボールを戻していただくよう競技役員より指導を行いますので、ご注意下さい。
13. ボウリング場外は、都道府県名の表示されたユニフォームやジャンパー等の恰好は控えて下さい。
14. 今大会は参加選手の入・退場は入場開始時刻以降、常時可となります。

競技部・審判部

1. 各連盟の登録選手氏名および投球シフト・レーンNo.等はプログラムに記載されている通りです。誤字、脱字等がありましたら監督会議終了後に競技受付へ申し出て下さい。
2. 登録選手を変更する場合は、所定の用紙に記入して、監督会議終了までに競技受付へ提出して下さい。
3. JBC会員証、ボール検査合格証は各自が携帯し、審判の提示要請があったときは速やかに提示して下さい。
4. 競技受付は、「場内入場＝受付通過」といたします。監督がまとめて通過する必要がありません。
5. 競技開始前には、モニター画面に名前が表示されますので訂正がありましたら審判員に申し出て下さい。
6. 競技中審判員の立ち会いが必要な場合には挙手にてお知らせください。
7. ハンドコンディショナー類はボウラーズベンチ内への持込が禁止されています。(競技規則第128条)必ずボウラーズベンチの後方に置いて下さい。
8. 競技の進行が著しく遅れているボックスには、スローボウリング(競技規則第134条)を適用します。スムーズな競技運営にご協力ください。
9. リセットボタン・トラブルボタン利用の際は挙手にて審判員またはセンタースタッフを呼んでください。
10. 監督がボウラーズベンチに入る場合は、監督章を必ず着用してください。監督章を着用していない方はボウラーズベンチ内へ立ち入らないでください。ボウラーズベンチ内へ入る場合は必ずボウリングシューズを着用してください(ハウスシューズの貸し出しはありません)
11. ゲーム移動の際には荷物も全て移動してください。移動先のボックスが投球中の場合は、コンコースで待機して下さい。
12. コンソールの操作はすべて審判員・センタースタッフにて行います。選手はコンソールには触らないでください。

記録部・広報部

1. 初回入場時、IDカードとともに個人記録集計用紙をお渡しします。予選3回戦終了後、競技受付に提出してください。また複写式スコアカードは使用しません。
3. 予選における同順位、同スコアの場合は競技規則第133条に基づいて行います。
4. 大会成績はJBC結果速報ページに掲載します。記録に対する異議申し立ては必ず監督を通じて行ってください。
大会の全成績表は後日、所属連盟へメール送信いたします。
5. 大会記録室への入場は、関係者以外禁止いたします。

褒賞部

1. JBC褒賞記録が出た時は、審判員に申し出て「褒賞申請用紙」を受け取り、必要事項を記入して審判員に提出してください。記録を確認後、監督を通じて褒賞バッチをお渡しします。

認 証 部

1. 原則、ボールの当日検量は行いません。選手は事前に各都道府県にてボール検査合格証の発行を受けてください。ボール検査合格証の紛失等により当日ボール検査が必要な場合は主管役員へ申し出てください。この場合の検査料は1個につき500円です。この大会中のみ有効の当日合格証を発行いたします。硬度検査のみの場合は1個につき200円です。
2. 会場に持ち込んだボールは、競技開始前に全て登録を行なってください。登録料は2個目のボールから1個につき500円です。5個以上のボール登録においては1個につき1,000円の特別保管料を徴収します。なお、原則としてボールの追加登録は認めません。

個 数	1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個	7 個以上
登録料	0 円	500 円	1,000 円	1,500 円	2,000 円	2,500 円	500 円ずつ UP
保管手数料	0 円	0 円	0 円	0 円	1,000 円	2,000 円	1,000 円ずつ UP
合 計	0 円	500 円	1,000 円	1,500 円	3,000 円	4,500 円	1,500 円ずつ UP

3. ボール登録には下記 URL より使用ボール登録証データをダウンロードし、事前の記入をお願いします。大会当日会場でのご記入はくれぐれもお控えください。使用ボール登録証は1枚のみ印刷して持参し、ボール登録受付へご提出ください。
4. お釣りが発生しないよう、料金表に基づき事前の準備をお願いします。原則両替もお断りします。
5. 競技中参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施します。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力してください。未登録のボールを会場に持ち込んだ場合、大会で記録したそれまでの記録はすべて無効となります。
6. 2020年8月1日より「ボウリング施設、設備及び競技用具認証規格」が改訂され、今大会では新規格が適用となりますので、ご注意ください。

<http://www.jbc-bowling.or.jp/topics/1912/>

7. 大会認証報告

競技場名	山形ファミリーボウル
公認競技場番号	106-32
レーン認証番号	3203-1426
レーン認証有効期限	2023年3月31日
大会使用ピン	JBC 認定第 46 号ピン (AMF 社 アムフレックス)

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事 compared to 長時間の飲食に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログリブ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、直カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の暖みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



指定緊急避難場所（山形市立第七小学校）

